



発行者：馬路町自治会 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) ホームページ <https://umaji-cho.com> 印刷：(株)天声社

馬路町いまどきトピックス このひと・このまち

今回号では、令和6年6月に自治功労者として「瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）」を受賞されました池尻区にお住まいの 浅田 孝（あさだ たかし）さんをご紹介します。

今回の受賞（高齢者叙勲）には、知人・親戚・関係者など多くの方から祝辞を受けられました。

昭和30年（1955年）4月、京都府農林水産部耕地課に奉職、平成8年（1996年）3月に退職されるまで、ほ場整備やため池改修など農業農村整備事業担当の「土地改良事業」に尽力され、最終勤務地の南丹土地改良事務所では、所長として南丹地域発展に努められました。

平成24年に京都府土地改良事業団体連合会長表彰、平成28年に全国土地改良事業団体連合会長表彰、そして平成29年には亀岡市市政功労者表彰も受けられています。

退職後は、川東地区ほ場整備においても、事業完了に導いて頂きました。

現在は、家庭菜園、趣味のゴルフやグラウンドゴルフにと励んでおられます。これからも引き続き地元への指南役として、ご指導頂きたいと思えます。

自治功労者表彰 誠にありがとうございます。



(名倉雅之)

町内空き缶収集等一斉清掃

令和6年10月27日（日）天候にも恵まれたなか、午前8時30分より、子どもたちを含む多くの町民の皆さんの参加の下、町内空き缶収集等一斉清掃が行われました。

各区で道ばた、溝の中等に捨てられている缶・ビン・ペットボトル他色々なゴミを袋に収集しました。

各区で集められた収集物は、馬路生涯学習センター南側の広場に運び込まれ、各区の正・副区長さんと自治会議員が分別作業、最終処分場のエコトピア亀岡に搬入、無事作業を終了しました。町民の皆さまお疲れ様でした。

昨年は軽トラ5台でしたが、今年は軽トラ4台となり、『捨てられるゴミ』は確実に減りました。ゴミを発生させるのも、無くすのも人の成せる業。美しいまちづくりへのより一層のご協力をお願いします。

(中澤久美子)



一人暮らし高齢者世帯へ歳末訪問

令和6年12月21日（土）民生児童委員と自治会議員が、一人暮らし高齢者世帯の方へシクラメンの鉢植とおみかんをお持ちし訪問させていただきました。寒い日でしたが、きれいに咲いた花をみて喜んでいただけました。

(人見典子)



編集後記

時の過ぎるのは早いもの。時間・仕事に追われ、自分の思うようにはなりません。『楽しむのではなく、面白がるの。』楽しむというのは客観的でしょう。中に入って面白がるの。面白がらなきゃ、やっていけないもの。この世の中。こんな樹木希林さんの言葉を見つけました。地域情報、ご意見をお寄せください。

(名倉勝香)

編集長 中川 徹
編集委員長 中澤和洋
編集副委員長 中澤嘉夫
委員 中澤千裕
委員 人見真司
委員 名倉勝香
委員 人見典子

馬路町の人口と世帯数
2025.01.01現在

人口	1,438
内訳	男 680
	女 758
世帯数	657

(亀岡市人口統計表より)



今後の行事予定 令和7年 3月～4月

- 3月 1日（土） まほろば・亀岡かわひがしウォークラリー
- 3月 15日（土） 令和6年度正・副区長、隣組長、自治会議員合同会議
- 3月 17日（月） 八幡宮社祭典
- 3月 28日（金） 令和7年度新正・副区長、自治会議員合同会議
- 4月 6日（日） 消防馬路分団入退団式
- 4月 13日（日） 山林奉仕
- 4月 20日（日） 令和の花踊り練り物行列
- 4月 27日（日） 馬路町戦没者慰霊祭

あいさつ 自治会長 中川 徹

立春を迎え、寒さはまだ続いておられますが、梅のつぼみはほころび始め、寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じるようになってきました。

馬路町の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、令和7年は昭和30年（1955年）の町村合併により亀岡市馬路町が誕生し、70周年という大きな節目の年を迎えています。

また、本年の干支は巳です。へびは脱皮して成長することから復興と再生、そして新しい時代の幕開け、新たな取組を進めていく年と言われています。

まさしく、馬路町におきましては、「(仮)平の沢池中池駐車場整備」や「川東保育所新園舎建設」など大きな取組に向けての一年となります。これらの取組は、40年先、50年先の馬路町の未来を築いていく非常に重要な取組であり、着実に進めていかねばならないと考えています。

平の沢池には多くの皆さんがお越しいただいておりますが、十分な駐車場がなく、路上駐車により大変危険な状況となっていた

り、諦めてお帰りになるといったことが起こっています。こういった状況をなくすため、この度、亀岡市の支援を頂き、「(仮)平の沢池中池駐車場」が整備されます。今後の平の沢池周辺一帯の整備にも欠かせない施設になると考えられます。

また、川東保育所新園舎の建設については、子ども達の安全安心で豊かな成長が図れる保育環境を一日も早く整備するため建設するものです。長年にわたり要望してきております亀岡川東学園隣接地に新園舎を建設する方向で、亀岡市と調整していくこととし、今後協議を進めてまいります。

今日、南海トラフ地震の30年以上発生率が80%に引き上げられ、馬路町付近には亀岡断層があることなどを鑑みると、老朽化が進み、耐震対策が出来ていない現園舎から安全安心な新園舎への移転はいつと時の猶予もありません。

馬路町の輝く未来に向けての大きな取組です。皆様の格別なるご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今後とも安全安心で明るく元気なまちづくりに取り組んでまいりますので引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平の沢池中池駐車場(仮称) 整備の進捗について

平の沢池中池北側に駐車場が新しく整備されます。

平の沢池周辺には、春の桜、初夏の蓮、バードウォッチングや呉弥山散策など多くの方が訪れています。十分な駐車スペースがなく、不便を感じていましたが、この度、亀岡市より支援を頂き、地元池尻区所有地(中池北側)に乗用車約40台、大型バス5台が利用できる駐車場が整備されることになりました。

既存の駐車場も合わせ、より安全に散策して頂けます。地元馬路町の方は勿論、遠方からも多くの方に来て頂けると思っております。今春3月からの使用開始を目指して、整備工事が進んでいく予定です。平の沢池周辺の散策では、是非「(仮)平の沢池中池駐車場」をご利用下さい。

(名倉雅之)

